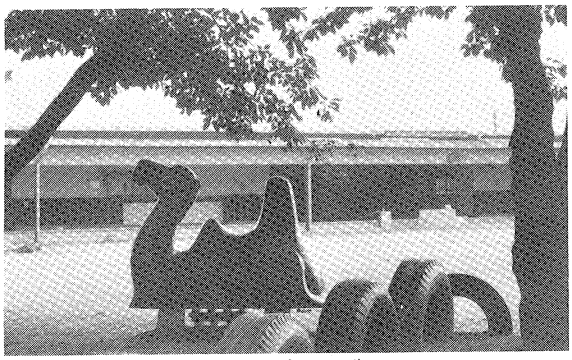
わが校を語る

いわき市立

# 錦幼稚園



園庭から園舎をのぞむ

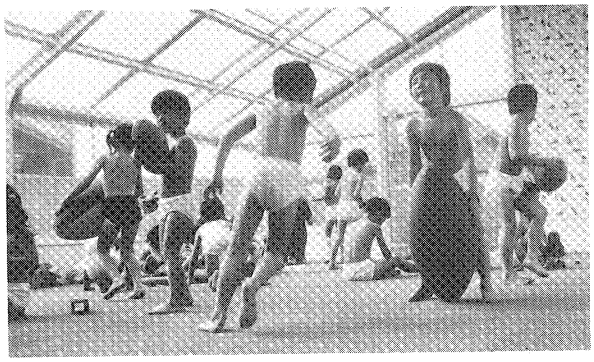
太平洋の朝日に輝く本園は、昭和五十年に私立呉羽幼稚園からいわき市に移管され、公立幼稚園となった。

○　恵まれた教育環境

静かな住宅地と美しい樹木の緑に囲まれ、園庭・園舎が広い。園舎は分舎方式により配置され、出し入れ自在のステージのあるホールや各園室の内部設備もよくくふうされている。

園児の体力づくりに、冬期の日光浴室として「お日さまの部屋」（サンドルノ室）も設置されている。

よい環境のもと、恵まれた施設・設備を活用し、百六十四名の園児が主体的に活動するよう保育指導している。



「お日さまの部屋」で

○　充実感を味わえる保育を

園児たちは、絶えず新しいものにふれていく。園庭一隅の大きな砂場で、新しい砂の山に興味を示し、それぞれにスコップをふるう。遊びの経験を積むにつれ、グループごとの発想により創意くふうしながら、山・川・ダム・滝などを作り出し、学級全体の活動へと展開していく。

砂場あそび

- 教師からのやらせ保育でなく
- 園児に考える機会を与え
- 仲間というものの力を育てる

園児たちは、砂場いっぱい・ホールいっぱい・園室いっぱいに、ダムや町づくり等の共同製作に喜々として活動し、満足感・充実感を味わっていく。

自由で自主的な遊びから、学級全体の活動へと展開していくプロセスをたいせつにし、教育目標達成に努めている。

春の遠足――風船ひろい